



生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合の構成団体を紹介します

市民シンクタンクひと・まち社は、市民参加型の社会を創るために、自ら福祉や環境、自治の分野における調査研究を行うとともに、その成果を地域で活動する市民や市民団体に提供し、コミュニティワークの創出、人材の育成、まちづくりに必要な新たな機能づくりなどを目的に活動しています。これまで運動グループと共に「介護保険制度検証のための基礎調査」を行い、市民相談員の育成や利用者自身が事業所を評価するしくみなどを提案してきました。現在、主たる事業を東京都の福祉サービス第三者評価機関として、福祉施設の評価事業を行い、利用者に資する評価をめざしています。

←NPOの交流サロンにて「調査や評価を通じて市民参加型社会の実現を後押しする活動について」活動報告を行いました。

市民後見のための連続講座を実施します

高齢化率は20%を超え、認知症高齢者も予想を上回りました。独居や高齢者のみの世帯が増え、高齢者が詐欺にあうなどの被害が後を絶たず、判断が不十分な高齢者や障害者の最善の生活を守るためには成年後見制度の利用をすすめることが必要です。しかし、成年後見の利用は少なく、専門職による成年後見人は限られています。一方で親族後見人の不正が問題となっており、身近な市民が担える仕組みづくりが求められています。

郵便事業の年賀寄付金配分助成を受け、市民後見人養成講座開催に向けて、関係機関や運動グループと連携し作業部会を作り、準備を進めています。現在、高齢者や障害者施設のニーズの実態調査を行っています。調査の結果を踏まえて、「市民が担う成年後見連続講座（入門編）」を1月に実施予定で企画中です。

市民シンクタンク・ひとまち社

〒160-0021 新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル6階
TEL03-3204-4342 FAX03-6457-6202
E-mail npo@hitomachi.org
URL <http://www.hitomachi.org/>

市民が担う成年後見・連続講座（入門編）

成年後見制度の利用をサポートする市民活動をイメージした成年後見講座を開催します。
日時：1月12日（土）13日（日）14日（月・祝）
いずれも10：00～17：00（昼休み1時間含む）
参加費：3日間 9講座・定員：30名（予定）
※詳細は左記の連絡先までお問合せ下さい。

まちのほっとスペース紹介



まちのほっとスペースは「居場所」「相談」「ちょっとした困りごとの手助け」の3つの機能を持っています



レンタルボックス



調理補助を担うサポーター



見学者の皆さんと

東村山・ほっとスペースまちの縁がわ本町

久米川駅から徒歩5分、東村山市役所に向かう途中、都営団地に隣接し、人通りも程良くある場所の2階建ての1階に「東村山・ワーカーズまちの縁がわ本町」が運営する「東村山・ほっとスペースまちの縁がわ本町」があります。中は10畳ほどのスペースと少し広めのキッチン、入ってすぐにはレンタルボックスの棚があり、地域の人が出店し、かわいい手作りが並んでいます。

働き方はゆるやかで、色々な人が関わっています。要介護の人もサポーターとして電話当番や食事作りの補助に入っています。

ランチはワンコイン500円の日替わりメニュー！食材はデポと連携し、生活クラブの材にこだわっています。近所の人々が作った野菜の差し入れが箸休め一品になっていました。当日いらしたお客さんは、「これを作ろうとしたら大変！一人で来ても気軽にお話ができて、ゆっくりいられる。お友達に宣伝したい。」と言っておられました。

編み物の会、ヨガ、麻雀、ベビーマッサージなど毎日少人数で楽しめるプログラムもそろっていました。生活クラブの加入受付をしているカウンター登録もしています。今後は「まち企画や説明会などにも使ってもらえるとうれしい」とのことでした。

※次回は国立市の「ほっとサロン・かふぇカサムシカ」をご紹介します。

生活クラブ・ケアセンター世田谷 12月オープン！！

2・3階

●グループホーム
「ちとせ」

1階

●小規模多機能ホーム
「みんなんち」

●訪問支援サービス
「NPO たすけあいワーカーズ
えん千歳台」

●支援サービス
「ちとせ」



生活クラブの砧センター跡地に、社会福祉法人・悠遊が事業主体となる「生活クラブ・ケアセンター世田谷」が12月にオープンします。「住み慣れた地域で、安心して暮らしたい」という願いを実現できるように、一翼を担っていきたいと思います。そのためには、地域と連携していくことが大切です。インクルーシブ事業連合でもボランティアの掘り起こしなど、地域づくりのサポートに入っています。まずは、働く方の紹介、ボランティア登録、利用者の紹介などなど、ぜひとも、皆さまのご協力をお願いします。

内覧会を行います。見学希望の方は、ご連絡ください。

11月20日（火）・21日（水）10:00～16:00

ケアセンター世田谷のお問い合わせは、TEL:03(5490)7080 開設準備室 または
TEL:042(424)8106 社会福祉法人 悠遊 まで

生活クラブの「地域福祉推進のための費用援助」の助成を受けた活動を紹介しします

NPO むすび

～高齢者と若者のシェアハウスの実践～

地域でどう暮らし続けたいですか？

NPOむすびの設立趣意書に掲げられた問いかけです。

介護保険が始まって12年。むすびは住み慣れた家で自分らしく暮らすため、居宅介護事業を行ってきました。その経験から、一人暮らしだけでなく、施設でもなく、他人と分かち合いながら、もう一つの家族のように気遣い、助け合う住まいを選択肢にできれば、と思いが膨らみました。高齢者と若者の異世代の分かち合いの家は、お互いの出来ることを分け合う家です。

分かち合いの家は、大切なものがたくさんありますが、住民の相性もその一つでしょうか。むすびが間に入り、マッチングやコーディネートを担うことで開かれた関係を作っていきます。生活のルールや定期的な交流会、イベントなど高齢者と若者のアイデアが掛け合わされる機会になるよう第二の家族会議も持ちたいですね。思いを口にすると、知恵も集まり関係各所から協力やアドバイスをいただけるようになりました。物件も絞り、見学の申し出もいただいています。分かち合いの家は先駆的な実験場です。高齢者と若者とむすびで地域に開かれた新しい住まいを一緒に造っていきたく考えています。

NPOむすび 理事 荒川直美

NPOむすびホームページ <http://musubi-tasukeai.jimdo.com/>



学生との打ち合わせ



学生たちと物件見学